

あけぼの会 看護の日イベント

5月12日に看護の日・看護週間にちなんだイベントを、正面玄関ホールにて開催しました。このイベントは長野県看護協会に協賛いただき、看護部あけぼの会が中心となり行いました。

『看護の日』とは、1990年に、21世紀の高齢化社会を支えていくため、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合う事が大切と考え、こうした心を老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるように、

近代看護の基礎を気づいたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。

イベントの内容は、血圧測定、酸素飽和度測定や体脂肪率測定、また、健康相談や疾患・症状に合わせた食事療法などのパンフレットの配布をおこないました。

当日は、このイベントのためだけに足を運んでくださった方、開催時刻より早くいらしてくださった方もあり、嬉しさでいっぱいでした。

各種測定コーナーでは、60名以上の方が参加してくださいました。

健康相談では、体調に不安はあるがどのように医療機関にかかったら良いかわからず悩んでいらっしゃる方、通院はしているが今の治療で本当に良いのだろうかなど、様々なご不安や悩みを持ちながら生活されている方々のお話をお伺いすることができ私たちも勉強になりました。

イベントに参加、ご協力くださった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

